

SBC 公式戦デビュー!

某SK 7X | 0 SBC

平成27年4月12日、市民球場にて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某SKとの試合があった。
SBCは格上相手に善戦するも、6回の裏に1点を取られ、7点差コールドでゲームセットとなった。

「真ん中に来れば打てる」 日高

相手投手の速球、鋭い変化球にSBCのバッターは四苦八苦していた。しかし、日高は第1打席にいきなりヒットを打ってみせた。
「真ん中に来れば打てる」。この一言は、SBCの面々に勇気を与えた。
しかし、この1打が相手投手を本気にさせてしまった1打でもあった。

無念の途中交代 床島

去年のSBCの打点王は床島である。しかし、この試合、昨年の打点王は途中交代を余儀なくされた。

迎えた第2打席。投手の剛速球が床島の頭部を直撃した。床島はバッターボックスにうずくまり、球場内は騒然とした。大事を取って、この回よりベンチに下がった。SBCの公式戦を心待ちにしていた彼にとってこの交代は悔しいものになったに違いない。

粘りの投球 富永

今回の相手はかなりの格上であったが、5回までを粘りの投球で凌いだ。
前回の試合でも強打者揃いであったが、今回

はストライク先行で四死球は少なく、空振りも多く取ることが出来ていた。エラー絡みの失点が多く、不運な部分もあったが、内容としては徐々に良くなって来ている。
今度の試合こそは、彼に白星を付けたいものだ。

「私も出して下さい」 河野（裕）

点数的には負けていたものの、守備のリズムが良かったため木原監督はメンバー交代に悩んでいた。その中、彼は監督に積極的にアピールをし、6回の裏、ついにそのチャンスを手にした。
が、しかし、彼が最初に触ったボールは無情にもサヨナラタイムリーヒットとなるボールであった。

熾烈を極める外野のレギュラー争い。積極的なアピールでレギュラーを勝ち取って欲しい。

今回の試合はSBC初の公式試合となった。実力の差はかなりあったものの、結果よりも内容は良かった。

しかし、投手への援護が全くなかった事が今回の1番の敗因ではある。大下や西田も良い当たりはあったが、両方とも野手の正面であった。今回出た課題を克服し、次回の試合では、投手にもっと楽に投げさせるぐらいの点数を取りたいものだ。

次回の試合は5月上旬を予定しています。これからも皆様の応援よろしくお願い致します。

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
SK	0	0	0	0	0	0	0
SBC	0	2	0	0	4	1X	7

[投手成績]

氏名	投球回	奪三振	失点
富永	5	3	6
大下	1	0	1

【☆マネージャー募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

*野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。

(記者: 西田宏伸)

【第5回 SBC速報】

打順	守備	氏名	打数	安打数	打点	四死球
1	投	富永翔太	2	0	0	1
2	一	日高直人	3	1	0	0
3	捕	河野章吾	3	1	0	0
4	遊	石神良梧	3	0	0	0
5	中	大下聡一郎	2	0	0	0
6	三	床島真二	1	0	0	1
7	左	外林良規	2	0	0	0
8	二	西田宏伸	2	0	0	0
9	右	西田悠一	1	0	0	0
		河野哲二	1	0	0	0
		田岡和也	1	0	0	0
		木原伸治	0	0	0	0
		河野裕司	0	0	0	0
		秋山卓矢	0	0	0	0